

★電気自動車の最新動向と今後の展望について解説！EVの技術開発とビジネス戦略に活かそう！

EVの最新技術動向と将来展望

- ◆日時：2021年5月21日(金) 12:30~16:00
- ◆場所：【WEB限定セミナー】※自宅、会社で受講可。
- ◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)
※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円**
・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円)**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】

早稲田大学 電動車両研究所 招聘研究員 工学博士 廣田 壽男 氏

<ご専門> 電動車両(EV、FCVなど)、バッテリー

<学協会> 自動車技術会

<ご略歴>

- 1972年 日産自動車入社、中央研究所 電気自動車EV、燃料電池車FCV等の研究開発
- 1994年 米国駐在、各種開発車両(ガソリン車、EVなど)の性能開発
- 1998年 帰国。総合研究所配属。燃料電池システムの研究開発
- 2001年 米国駐在。コネチカット州に燃料電池研究室開設
- 2005年 帰国。技術企画部。EVなど環境・エネルギー開発戦略
- 2014年 日産自動車退職
- 2008年 早稲田大学環境総合研究センター(兼務)
- 2018年 早稲田大学電動車両研究所 太陽電池搭載車の実用化に関する研究
- 2018年 IEA PVPS Task17 'PV and Transport' 運営責任者
- 2021年 産総研福島再生可能エネルギー研究所 客員研究員

【習得知識】

- ・EVの世界市場動向および最近のトピックス
- ・最新技術動向：ワンプedal、SiCインバータ、Niリッチバッテリー他
- ・将来展望：バッテリー、モーター・インバータ、車両技術(含むFCV、ソーラーカー)

【講座の趣旨】

2010年頃の本格的EV導入から10年を経て、EV技術は新たなステージに移行しつつある。半導体やモーター・インバータ、バッテリーの技術進化により、より広い範囲のユーザーに受け入れられる車両が登場し始めた。一方で発電時や車両製造時の環境影響の観点からEVは必ずしも環境に良い技術ではないのではないかという議論も始まっている。将来に向けたEVの技術開発とビジネス戦略に役立てるため、最新の動向と今後の展望について述べる。

【WEB受講について】

- ・本講座は「Zoom」を使ってライブ配信します。視聴方法「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。事前にZoom WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- ・お申込み後は、受理のご連絡メールをさせていただきます。請求書等の書類をお送りします。
- ・セミナー開催前に視聴用のURLをメールでお送りします。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料(テキスト)はPDFで事前にお送りします。
- ・タブレットやスマートフォンでも受講可能ですが、機能が制限される場合があります。

【プログラム】

1. EVの最新技術動向-車両技術

- 1-1. EVの市場導入、各国政府の政策
・世界のEV導入が急拡大。日本はかつてリーダー、現在は？
- 1-2. エンジン車を凌駕するEVの魅力
・なぜ電動パワートレインか？
- 1-3. 最近の注目技術：ワンプedalドライブ他
・半導体、バッテリーの技術進化がもたらす究極のドライビングフィール
- 1-4. 商用車だけでなく多様なEVがモビリティを変える
・ラストワンマイル超小型EV、デリバリーEV、自動運転EV

2. EVの最新技術動向-電動パワートレイン、コンポーネント技術

- 2-1. 電動パワートレインシステム技術
・最新技術動向：800V電動パワートレイン等
- 2-2. モーター・インバータ技術
・モーター・インバータ構成および最新技術：SiCインバータ等
- 2-3. バッテリー
・ニッケルリッチリチウムイオンバッテリー ・バッテリー信頼性向上、コスト低減
- 2-4. 充電技術
・超急速充電による充電時間短縮、走行中給電

3. 将来展望

- 3-1. EV技術の将来展望：さらなる技術革新のポテンシャル
・航続距離、価格、充電の3つの課題は解決できるか？
- 3-2. 燃料電池車FCV
・将来の自動車エネルギーは電気か水素か、または？
- 3-3. 実用的なソーラーカーは実現するか
・太陽電池の効率向上とコスト低減により現実にならざることを目指す
- 3-4. サステナブルモビリティの実現を目指して
・2050年カーボンニュートラル実現のためのEVの役割

『EV技術動向【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送	

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして受講券、請求書などの書類お送りいたします。WEB視聴される方には前日までにテキストを送付いたします。セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>